

2022年3月20日  
京葉少年野球連盟

## 新型コロナウイルス 感染防止ガイドライン

### 〔チーム内でコロナ感染が確認された場合〕

選手と選手の同居家族 および 指導者に新型コロナウイルス感染者が発生した場合、該当者を登録したチームは参加辞退扱いとなります。

登録選手・登録指導者・スコアラーがコロナウイルスへの感染した場合、クラブ代表もしくはクラブ窓口は速やかに状況を把握し、クラブとしての対応状況を連盟事務局まで報告をしてください。

登録選手・登録指導者・スコアラーが以下に該当する場合、ベンチ入りを認めません。代役を立てることは可能です（当日の登録変更を当連盟では認めておりません。）

- ・ 本人のコロナ陽性が判明した場合
  - ・ 症状ありの場合は、症状がなくなってから7日間経過するまで
  - ・ 無症状の場合は、陽性判定から7日間経過するまで
- ・ 発熱・咳・倦怠感などの症状がある場合
- ・ 味覚障害のある場合（陰性と判定されるか、医師の承諾があるまで）
- ・ 同居家族がコロナ陽性となり、陽性の方が療養中の場合
- ・ 濃厚接触者と保健所から指摘された場合（陰性と判定されるか、無症状のまま接触から7日間経過するまで）
- ・ 登録選手が所属する小学校・学年・学級が、休校・閉鎖の場合

### 〔役員の感染防止対策〕

- ① 連盟では非接触型体温計1台本部に常備する。
- ② 役員向けアルコール消毒液（手洗い用と器具消毒用）を本部に常備する。
- ③ 連盟役員・チーム派遣運営補助員・試合担当審判員は家庭などで事前に体温測定をする。その結果を「役員健康管理チェック表」に記入し、本部の承認を受ける。体温の基準は大人 37.0℃とし、その基準にあてはまらない場合は参加できない。その場合 チーム運営補助員及び試合担当審判員は別の人を派遣する。
- ④ 役員はマスク着用・手洗い励行する。
- ⑤ 担当審判員 球審はマスク着用し塁審は任意とする。  
ジャッジ（タッグを含む）は選手より適当な距離（3m位）をとる。
- ⑥ 試合前の審判打合せや試合後の反省会は極力短時間とし、「三密」を避ける。

### 〔チームの感染防止策〕

- ① 試合チームは家庭などで事前に体温測定及び体調確認をおこなう。
- ② 試合会場に到着したチームはその結果を「チーム健康管理チェック表」に記入し本部に提出する確認を受ける。体温の基準は大人 37.0℃・子供 37.5℃とする。異常のない場合ベンチ入りを許可し、試合前のアップに入ることができる。
- ③ 体温測定で基準越えの方や体調不良の方のベンチ入りは認めない。
- ④ 必要に応じて各チームアルコール消毒液のご持参をお願いします。
- ⑤ ベンチスタッフは全員マスク着用。選手のマスク着用はチーム判断とする。
- ⑥ 試合前トス時の握手はおこなわない。
- ⑦ 試合前後の整列は審判員のみ本塁後方に、ベンチスタッフ及び選手はベンチ前に一列に整列する。審判員の発生「お互いに礼」で脱帽・お辞儀をする。  
また 円陣やエール交換は禁止とする。
- ⑧ ベンチ内では「三密」に気を付け大声を出さない。
- ⑨ キャッチャーミットなど他人と共用する道具は消毒に留意お願いいたします。
- ⑩ 選手の移動の際などの「三密」に留意お願いいたします。
- ⑪ 熱中症にも注意お願いいたします。

### 〔応援者の感染防止策〕

- ① 応援者は家庭などで事前に体温測定や体調確認をおこなう。
- ② 試合会場に到着したら、「チーム健康管理チェックリスト」に結果を記入し、試合チームが責任をもって本部に提出する。体温の基準は大人 37.0℃・子供 37.5℃とする。
- ③ 体温測定で基準越えの方や体調不良の方の応援は認めない。
- ④ マスク着用お願いいたします。応援席の「三密」に注意し大声の応援はおやめください。
- ⑤ 熱中症にも注意お願いいたします。

### 〔役員・チーム健康管理チェック表の取り扱い〕

- ① 連盟が責任をもって保管いたします。
- ② 万が一「クラスター」が発生してしまった場合、その記録関係機関に提出する場合があります。ご了承よろしくお願いいたします。
- ③ 連盟ホームページ春季大会に「チーム健康管理チェックリスト」PDF ファイルにて掲載してあります。ご利用ください。

以 上